



議会だより
かつらぎ

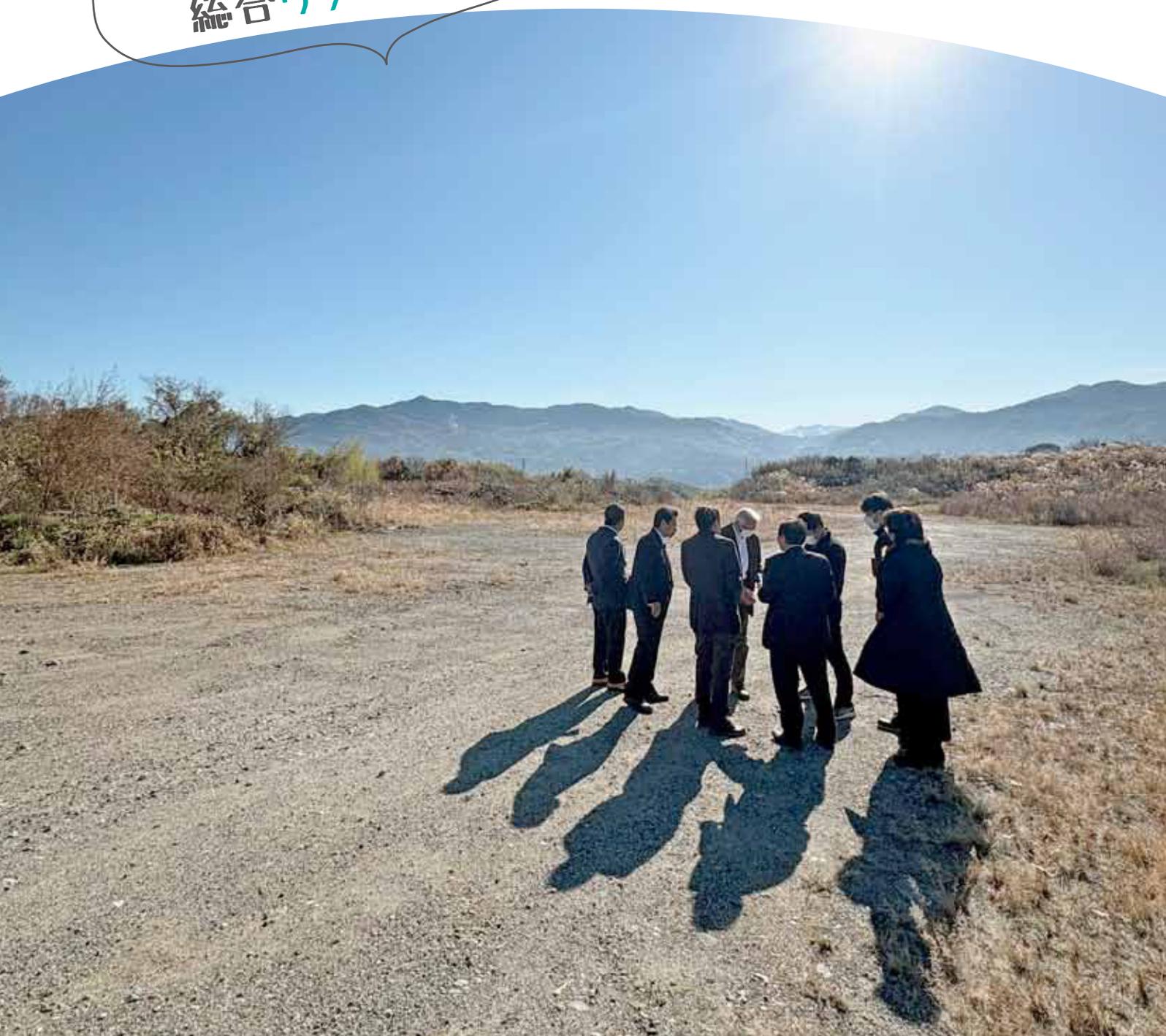
かけはし

108

2026.02

実現するか 夢が広がる
総合リゾート事業

- 02 | どうなっている? 3大プロジェクト事業
- 06 | 決算認定
- 14 | 一般質問 町民のおもいを届ける60分



どうなっている?? 3大プロジェクト事業

今号は、なかなか進捗状況がわかりにくいとの声がある「庁舎建設事業」「地域優良賃貸住宅整備事業」「笠田中企業誘致事業」について特集する。

この中で、庁舎建設事業と地域優良賃貸住宅整備事業はPFI方式を採用する。

※PFI方式とは
PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)は、公共施設の設計・建設・維持管理などを、民間の資金・経営能力・技術力を活用して行うもの。
庁舎建設事業費の上限は34億3800万円。



議会だよりキャラクター「かきかあちゃん」

01 Project 庁舎建設事業 いよいよ庁舎建設へ



この保健福祉センターは改修して活用する予定

内容
現在の庁舎があるエリア内に新庁舎を建設する。
事業の概要は、保健福祉センターを残し、既存の本庁舎施設は解体、保健福祉センター西側の購入した土地も含め新庁舎を建設する。保健福祉センターを活用しつつ、国道側の土地には商業施設を誘致する。

今までの経緯

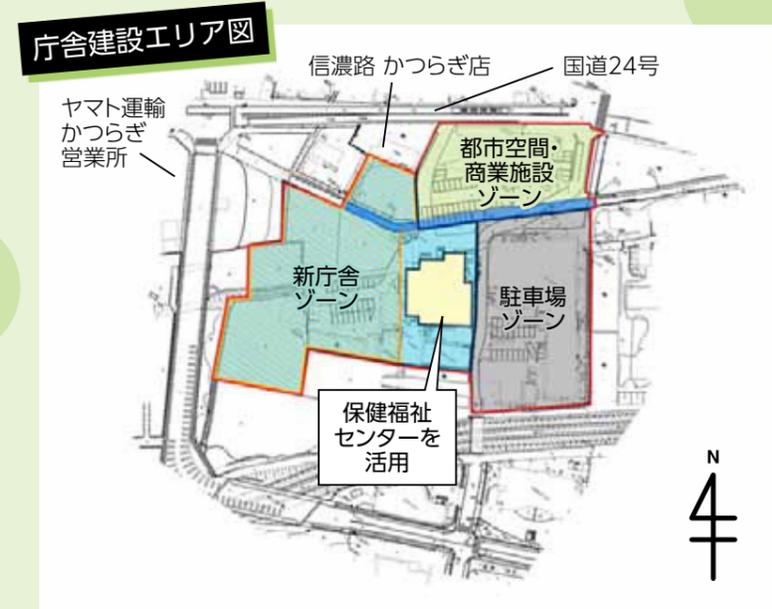
- 令和6年 2月 基本構想策定
- 令和7年 4～8月 事業計画を見直し
- 11月25日 実施方針の公表
- 11月28日 実施方針に係る現地説明会
- 12月16日 12月会議で債務負担行為補正可決

今後の予定

- 令和8年 2月5日 募集要項・要求水準書等を公表
- 6月30日 提案書の受付期限
- 7月17日 事業者プレゼンテーションおよび選定委員会によるヒアリング
- 7月下旬 優先交渉権者の決定および公表
- 8月上旬 基本協定の締結
- 12月 事業契約の締結(議会上程)実施設計へ

新しい町の顔を期待
かつらぎ町の玄関として、明るく入りやすい庁舎になることを期待。

丁ノ町
い き 嘉規さん 美保さん



02 Project 地域優良賃貸住宅整備事業(丁ノ町) 2階建て50戸程度に規模縮小

内容
子育て世帯や単身世帯を対象とした賃貸住宅を丁ノ町の元酒造工場跡地に整備する。当初の計画では、最大2棟80戸だったが、50戸程度に変更した。入居開始は令和10年度を目指す。



家賃も気になるところ
若い人が定住するための前段階として良い取り組みだと思います。

溝端紙工印刷株式会社
代表取締役社長 溝端 繁樹さん



この場所に入居しやすい賃貸住宅を整備する

今後の予定

- 令和8年度 債務負担行為の設定(議会上程)
- 募集要項の公表(公募広告)
- 提案書の受付
- 優先交渉者の決定
- 令和9年度～10年度 事業契約の締結(議会上程)
- 建設工事着工、竣工引き渡し後入居開始

今までの経緯

- 令和7年 4月27日 地元説明会(市原町内会70人参加)
- 5月22日 実施方針案説明会(参加事業者11社)
- 7月9日・11日 実施方針案に関する事業者ヒアリング(参加事業者8社)
- 7～11月 事業者と意見交換および実施方針案の再検討

～ 本音が飛びかったグループ討議 ～ 自治区長会との意見交換会



11月14日、自治区長会との意見交換会を総合文化会館で開催した。今回は「議員報酬」「自治区の困りごと」のテーマで3グループに分かれ意見交換を行い、終了後担当区長が発表した。発表の一部を抜粋し紹介する。

議員報酬などの意見

「住民に寄り添うために、議員にゆとり時間を与える必要がある」

「議員報酬について『引き上げる派』と『現状で十分派』に分かれた」

「子育て世代に議員の立候補を頼んでも報酬24万円では考えにくいからさっさとさっさと」

「本町は広い区域。議員定数は極端には減らせなく」

「自治区の困りごとなどの意見」

「自治区活動は部の人の犠牲により、かろうじて成り立っている」

「本町の消防団員定数439人に対して現在371人。定数も含めて見直しが必要では」

「戸数が少ない地域でも軒の家に行くのに半日かかる区長もいる」

「役場に『なんでもやる課』があったらありがたい」

「消防団の存在は本当にありがたい」



内容
雇用400人、観光客100万人を目指す総合リゾート企業誘致事業計画。事業用地の総面積13万6311㎡のうち、97.6%にあたる13万3076㎡を取得。令和8年には特別目的会社（SPC）を設立し、協定締結に向けて進む。

03 Project 笠田中企業誘致事業 用地買収ほぼ完了

総合リゾート施設イメージ



温浴・宿泊・物販などを一体化した施設町が作成した一例（イメージ図）

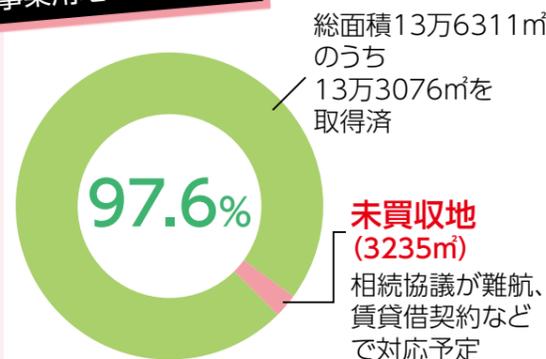
計画の早期実現を！

町にとって夢のある話なので、早期の実現を願っています。

笠田東
しばもり 柴森 ちかこ 千賀子さん



事業用地の買収状況



今後の予定

- ・予定事業者の出資による特別目的会社（SPC）を設立
- ・スポンサー企業からの出資募集を開始
- ・町とSPCによる第1段階の協定締結
- ・基本設計の完了を受け実施設計へ移行

今までの経緯

令和7年
・町と予定事業者2社で月1回Web会議を実施

10月 会議

決算認定

ふるさと寄附金が町のチカラに



10月会議 (10/28~30)	
補正予算	1件
事件議決	1件
決算認定	9件

収支バランスが保たれている状況

決算審査特別委員会は、令和6年度の決算について6日間審査を行い、全員賛成で9会計全てを認定した。本会議では、一般会計と国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計を賛成多数で認定、それ以外の特別会計6件は、全員賛成で認定した。

令和6年度の一般会計決算は、単年度収支、実質単年度収支ともに赤字だった。さらに経常収支比率も99・0%に上昇したが、財政調整基金に3198万円を積み立てることができ、その残高は16億9731万円となった。こうなった要因は、ふるさと寄附金・企業



【決算審査特別委員会】委員長 大山 希世

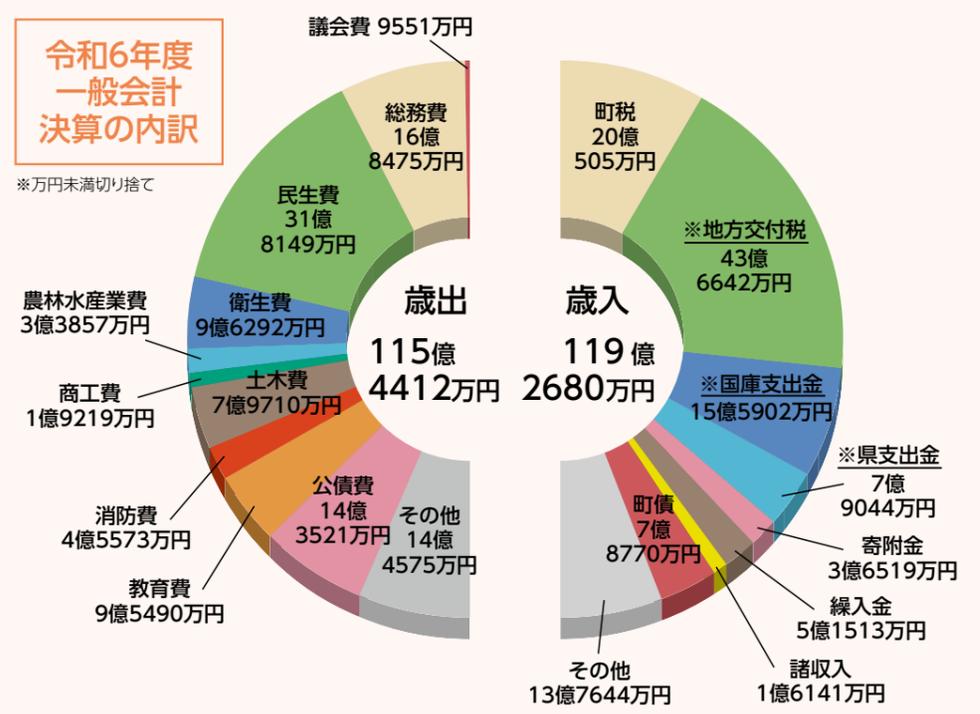
業版ふるさと納税の増加にあった。決算審査特別委員会は、財政状況は一定の収支バランスが保たれている状況と判断した。

委員長報告の様子はこちら



令和6年度一般会計決算の内訳

※万円未満切り捨て



- ※地方交付税とは 全国どこの自治体に住んでいても、一定水準の行政サービスを受けられるよう国が自治体へ配分するお金。
- ※国庫支出金とは 使い道が決まっている目的別の補助金で、国や県から配分されるお金。国が責任をもって負担する事業や国が奨励する事業などがある。
- ※県支出金とは 県の独自事業の負担や国から預かったお金を県の責任で配分するもの。



委員長報告への質疑から

子どもたちに素晴らしい本を



司書の手でパワーアップしている図書館(笠田小学校)

12クラス以上の学校には学校司書が配置されているが、それ以外の学校では、図書ボランティアや読み聞かせの会などの協力により図書館の充実を図っている。子どもたちが読書に興味を持ち、主体的に学ぶことを支援するために各学校への司書職員の配置を求めた。

問 町職員として司書の配置を求めたのか。
委員長 求めたが町職員かどうかは議論がなかった。

読書が大好き
本が分類ごとに色分けされており、親としても安心できます。



笠田東 (写真上段右から)
新家 翔太さん 美咲さん
(写真下段右から)
実桜さん 菜生さん

地域おこし協力隊の仕組みづくりが必要

現在3人が活躍しているが、1人が任期途中で退任した。マッチングや任期終了後も町内に定住できるような支援を求めた。

問 任期途中で退任した理由は。
委員長 地域での活動内容のニーズと隊員のニーズが合致していなかったため。



協力隊を経験して
地域に明確な目的がなければ、任期終了後の定住は難しい。
元町地域おこし協力隊員
森藤 秀実さん

庁舎建設に踏み込んだ議論はなかった

住民の関心が高い庁舎建設。進捗状況の積極的な周知を。

問 庁舎建設の準備に向け、※サウンディング調査を内容とする庁舎整備支援委託料1982万2000円が執行された。なぜ踏み込んだ議論がなかったのか。
委員長 調査に対する結果や報告などの成果物の提出はあったが、踏み込んだ議論はなかった。



※サウンディング調査とは 市場動向を調べるとともに、用地の活用アイデアを把握し、民間事業者参入の公募条件を整えるための調査。

議案審議

10月会議は28日と30日に開催され、決算認定以外では、庁舎建設の用地取得を含む一般会計補正予算などが審議された。一般会計補正予算は、賛成多数で可決した。

どこに建つのか 新庁舎 【一般会計補正予算】



問 現状の地目、畑、田で購入して庁舎建設するならば、伐根、うわ土の除去、造成、整地などが必要となってくるが。
総務課長 木の伐採を考えている。伐根や整地はPFI事業の中に含めており、事業者が行う。

問 新庁舎は一体どこに建つのか。
参事(総務・厚生担当) 国道に面したところは、商業用地として活用できればと考える。今回購入した土地をうまく活用して、庁舎を建てるのがベターと考える。

問 明らかに水に浸かるところに建てるのではなく、現庁舎と同じ高さまで造成すべき。
参事(総務・厚生担当) 事業者の提案にもよるが、例えば一番下の所はピロティにし、駐車場として使う。1階部分は会議室など、執務に影響のないような機能を持つてくるのが考えられる。

10月・12月会議採決状況(賛否が分かれた決算は3件、議案は2件)

議員名	結果												
	松岡	藤本	東芝	大原	浦中	溝北	中谷	羽根	滝ノ上	山下	表具	大山	
10月会議	決算	令和6年度	一般会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			後期高齢者医療事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シビックセンター特別会計など6件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
12月会議	議案	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		家庭的保育事業等の条例制定など7件 公の施設指定管理者の指定5件 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)など5件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注)松岡宏行議員は、議長のため採決には加わらない。○は賛成 ×は反対 欠は欠席

賛否が分かれる 討論

決算認定

一般会計

反対 **ブラックボックス**
東芝 弘明議員
庁舎の支援委託料1780万9000円の事業実績は明らかにならず。これでは決算審査はできない。議会へガラス張りにするのは、自治体の大原則。議会に情報を開示しながら進めることを求める。

国民健康保険事業 特別会計

反対 **負担押しつけはひどい**
東芝 弘明議員
県内で国民健康保険税を統一すると、医療体制の弱い地域住民に重い負担がのしかかる。こういう事態が見えている。県の方針に従うべきではない。保険税統一には反対してほしい。

後期高齢者医療事業 特別会計

反対 **今も是非が問われる**
東芝 弘明議員
導入時、問われたのは、年齢で切り分けて保険制度をつくることは非だった。高齢、低年金、収入ゼロでも保険料を払わせる仕組みはおかしい。これは17年経っても変わらない。

賛成

適正な執行と判断

山下 慎二議員
物価高騰や人件費上昇など、取り巻く環境が非常に厳しい中で、堅実な財政運営のもと、子育て支援や高齢者福祉、防災対策、公共施設の維持管理など、町民生活に密着した点を高く評価する。

賛成

安定的な制度の継続を

滝ノ上 万記議員
令和6年度の国民健康保険事業決算額は黒字で、税の収納率は97.43%であり、適正に予算執行が行われている。また、今後も住民が安心して医療を受診できる安定的な制度の継続を願う。

賛成

適正な予算執行である

藤本 憲一議員
歳入は、大部分が年金から直接天引きされる特別徴収であり安定している。歳出は、広域連合への納付金が主なもので適正な予算執行が行われていた。今後も高齢者が安心して医療を受診できることを願う。



一般会計補正予算

反対 **土地購入は問題**
羽根 祥起議員
今は、まだどの場所に庁舎を建設するのか決定していないなら、費用のかさむ土地の購入はよく考えてからすべきだと思う。

無責任な方針だ

東芝 弘明議員
購入した土地の造成工事を町が責任をもってすべき。用地をどう活用するかは企業の提案によるといふ。そんな無責任な方針は受け入れ難い。こんなことで反対しなければならぬのは極めて残念。

廃止は寂しいけれど

現状を考えるとやむなし。集落活性化のために活用できれば。

天野自治区長
やまもと ひろゆき
山本 弘幸さん



天野診療所の歴史

- 昭和34年10月 和歌山県立医科大学 紀北分院天野出張所開設
- 昭和52年3月 出張所廃止
- 昭和52年5月 かつらぎ町国民健康保険 天野診療所毎週開所
- 平成3年 県道拡幅事業により移設
- 平成23年4月 隔週開所に変更 現在に至る



買い物困難地域に進出を期待(妙寺)



問 県の企業立地促進補助事業の中には「小売業」は入っていない。本町の補助事業で対象にした理由は、**まちづくり推進課長** スーパーなどの小売店が撤退した地域に、新たに進出する事業者を、町が独自に支援する必要があると考えた。

企業立地促進助成金の内容

① 固定資産投資促進助成金 (限度額1億円~10億円)	② 雇用促進助成金 (上限3000万円)	③ 買い物利便性向上支援 (改装費と家賃)
投下固定資産額と新規正規雇用者数の条件を満たした企業に助成する。	住民票を本町に置く新規正規雇用者に対し、3年間1人あたり30万円を助成する。	指定地域であれば、①②に加え、小売店開設に別途助成する。
例:中小企業で3000万円以上投資し新設または増設し、5人以上の雇用を満たした場合、5年間、固定資産税相当額を交付する。	1年目は年度末の総数、2年目・3年目は前年度からの「純増数」が対象となる。	店舗の「改装費」1/4以内上限1000万円。「家賃」1/2以内月額上限10万円を2年間。

企業の進出支援で町を元気に

町企業立地促進助成金条例制定

内容 条例は、製造業と物流・観光関連事業について支援を行うもの。京奈和自動車道の沿線自治体で本町だけ助成がなかったらので条件整備を行う(下表参照)。

問 どう対応するのか。

こども未来課長 子どもが園になじむことを前提に、別の保育室で預かるよう協議中である。



「今日も何か楽しいことがあるかな」(佐野こども園)

内容 令和8年4月から、こども園などに通っていない0歳から2歳までの子どもを預けることのできる、こども誰でも通園制度が始まる。預けられる時間は月10時間。利用料は検討中。三谷こども園と佐野こども園で実施される。聖心幼稚園は今後協議を進めていく予定。



長期にわたり地域医療を支えてきた天野診療所

天野診療所 歴史に幕

町国民健康保険診療所設置及び管理に関する条例の廃止

内容 66年の歴史をもった天野診療所を令和8年3月31日で廃止する。

問 地元住民との協議が何回行われ、どのような意見があったか。

健康保険課長 令和6年3月から令和7年10月の間に区長と5回、区長および評議員11人と1回の合計6回実施した。「天野診療所の現在の利用状況を考えてと致し方ない」との意見があった。乗合公共交通が利用できることで、通院でできるようになったことも要因。

12月 会議

12月会議は、11月27日から12月16日の日程で開催され、こども誰でも通園制度関係の条例や天野診療所の廃止の条例、企業立地を促進する条例の制定、公の施設の指定管理の指定5件、一般会計補正予算ほか各会計の補正予算5件などが審議され、一般会計補正予算が賛成多数で可決、それ以外の議案は全員賛成で可決した。

12月会議 (11/27~12/16)	
人事	1件
補正予算	6件
条例	6件
事件議決	6件
一般質問	6人

こども誰でも通園制度がスタート

【乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定】



保健福祉センター西側付近に新庁舎が建設される

庁舎建設費上限額決まる

内容

庁舎建設費の債務負担行額34億3800万円が計上された。活用する保健福祉センターには5つの課64人の職員が入り、新庁舎には131人が入る予定。

問 新庁舎建設に関する情報が、町民に周知されていない、今後、町民への対応や、周知について、どのように考えているのか。
総務課長 今後は、できるだけ定期的に分かりやすく、広報紙などを通じて進捗状況などを周知したいと考えている。



町で一番歴史のある道の駅「道の駅紀の川万葉の里」が指定管理に移行した

万葉の里など指定管理者決まる

内容

公の施設5カ所の指定管理条例。公の施設は、直営ないし指定管理という方法で管理される。

施設名	所在地	指定管理者	公募・非公募・更新	期数
天野地域交流センター(ゆずり葉)	下天野	天野自治区	更新	3期目
地域食材供給施設(道の駅紀の川万葉の里)	窪	一般社団法人道の駅紀の川万葉の里	非公募	1期目
国道480号沿地域振興交流施設(道の駅くしがきの里)	滝	紀農人株式会社	公募	2期目
かつらぎ公園内スポーツ施設(体育センター、グラウンド、町民プール、テニスコート)かつらぎ河川グラウンド	丁ノ町	特定非営利活動法人憩楽クラブかつらぎ	非公募	1期目
かつらぎ町立こども園(佐野・三谷)	佐野・三谷	社会福祉法人かつらぎ福祉会	非公募	3期目

西の玄関口 万葉の里

地元の生産者の新鮮な野菜、柑橘が安い。朝からならんでくれる店です。

道の駅紀の川万葉の里

理事長

しぶや ひろかず 濹谷 弘和さん



指定管理更新 保育士給料のベースアップを

問

こども園の指定管理料の算定に関わって、加算を行うことが書かれている。ベースアップを図る意図をもって、加算を行うべきではないか。
こども未来課長 人件費や物価の上昇があるので、指定管理料を毎年5%アップするよう積算し予算計上した。

問

開園時間を1時間短くした理由は。
こども未来課長 保育士の負担が大きいため、働き方を見直す。



園児も保育士も笑顔いっぱい(佐野こども園)

問 こども園の開園時間が、午前7時〜午後8時であったのを、閉園を午後7時に変更する。保護者に通知する時期や内容は。
こども未来課長 決議され協定書を締結した後、こども園利用保護者に周知をする。ただし令和8年10月までは午後8時まで開園予定。

賛否が分かれる

討論

一般会計補正予算

反対

住民に意見を聞くのは

必須

東芝 弘明議員
基本構想とは全く違うものになった。国道に近いうちで浸水しない対策を取り、庁舎を建てるべき。主権者である住民に率直に状況を提示し、説明責任を果たし意見を聞くべき。賑わいの創出の是非も問われる。

賛成

受皿で意義深い

山下 慎一議員
今回の補正予算は、子育て環境の充実、健康づくりと地域活性化、町の安全確保、バランスを取りながら財政健全化を意識した持続可能な行政運営という観点から、妥当で意義深いものである。

財政面からみても最適

藤本 憲一議員

羽根 祥起議員
PPP・PFIには反対。PPP・PFIは、長期に渡る計画である。今後、世の中はどのように変わるかが分らない。債務負担行為をスタートすれば後戻りはできない。住民にも庁舎建設を理解してもらうことも大切である。

役場執務時間内の地震災害であれば、職員や来庁町民にも相当の被害が想定されるため、早期完成が大前提である。今回の補正予算(債務負担行為)は、財政面からみても最適な方法であると評価する。

地域の役職、何を見直すか

【副町長】定数・報酬・活動を時代に合ったものに



大山 希世 議員



問 自治区長に推薦を依頼する地域の役職は数多くある。特に民生委員・児童委員、母子保健推進員のなり手は、頭を抱える人が多く深刻であることが、自治区長へ依頼したアンケートによって明確になった。どの役職も住民と行政にとって、なくてはならない存在。担い手問題は深刻。この役職を担ってくれる人が減るとどうなるのか。

答 必要とする人への対応が遅れることで、孤立リスクの増大が懸念される。
健康保険課長 核家族化と共働き世帯の増加など社会の変化に伴い、周囲に頼れる人がおらず、孤立した環境で子育てをする世帯や、妊婦が増えている。母子保健推進員の担い手がいなくなると、住民と行政のパイプ役がなくなり、必要な支援が行き届かない。

副町長 委員の定数、活動の形態、活動の報告、報酬、これらは時代に合ったものに見直す必要があると考える。また、規約や要綱についても、古くは昭和時代に策定されたものもあり早急に改正に取り組み。委員が活動しやすい環境整備を図る。

まとめ 役場は頑張っていることも分かったが、自治区長との大きな温度差を感じる。自治区長はじめ、役職を担う人の声もしっかり聴いて見直しに取り組みることが重要。



連結放水訓練で出動サイレンから15分で連結を完了し放水できた日頃の訓練や点検のため

消防団員不足を補う 手立てのひとつとして

問 突然の出動要請に対応し、住民の生命と財産を守っている団員の活動に敬服している。近年は、会社員として勤めながら活動する人が増えているため、平日や日中の出動要請に応じることが難しい現実がある。そんな場合、地域の道路事

答 情や水源地など、地域の地形にも詳しい元団員に、協力を要請できるように働きかけてはどうか。
危機管理課長 消防団は定期的に運営会議を開催している。その中で、この課題を共有し安全向上策を議論していく。

地域の役職、何を見直すか

大山 希世…………… 15



かつらぎ西部公園の将来像は

山下 慎二…………… 16



森林環境譲与税の活用を

浦中 隆男…………… 17



避難所の用語統一を

東芝 弘明…………… 18



行政情報を動画配信しては

藤本 憲一…………… 19

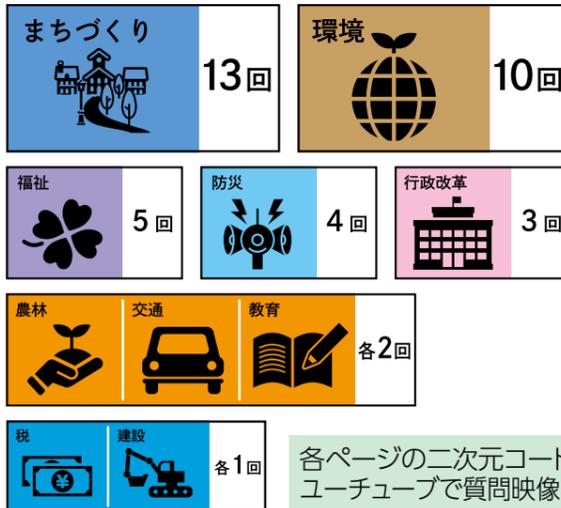


道路要望をリスト化し公表すべき

表具 弘…………… 20



令和7年中に行った一般質問テーマ



各ページの二次元コードを読み取ると、ユーチューブで質問映像を見ることができます。

一般質問は、町政に関する提案や質問を行うもので、持ち時間は1人60分。記事は、質問者が作成したものである。

町民のおもいを届ける60分



中阪町長

森林環境譲与税の活用を

【町長】 森林組合と協議したい

問 森林整備の充実に税をすべて使えば、基金の積立の必要性はない。林業労働力を確保し、本町の森林整備を進めることが大事である。林業労働者の現状と森林組合の

問 森林環境譲与税の使い道は。農林振興課長 間伐材の流通支援や作業道の整備。私有林の人工林を、自ら経営管理を行う意向があるか調査。経営管理集積計画を作成した森林の間伐のための測量。木の玩具を1歳6か月児にプレゼントなど。また余剰金は基金に積立している。



浦中 隆男 議員



併せて考える。町長 林業機械などの購入や修繕費の補助は、必要性や緊急性を把握するため、森林組合と協議をしながら進めたい。森林施業をするだけでなく、他の自治体が持っている基金などを、本町に対して使ってもらえることも併せて考える。

問 森林環境譲与税の基金を、森林組合と林業労働者の支援に活用しては。町長 林業機械などの購入や修繕費の補助は、必要性や緊急性を把握するため、森林組合と協議をしながら進めたい。森林施業をするだけでなく、他の自治体が持っている基金などを、本町に対して使ってもらえることも併せて考える。



高度な技術が必要な木材の伐採(森林組合提供)

問 費用は所有者とどう協議するのか。町長 伐採が必要な場所で、所有者に対応してもらえない場合はどう対処しているのか。建設課長 現地の状況により、急迫性、緊急性の高い場合は、所有者に了解などをもらい、職員で対応している。

問 町道などに張り出した樹木などの対策が必要な場所、倒木など危険な木竹などはどう把握しているのか。建設課長 住民からの情報提供や、定期的に行っている道路パトロールにより位置を把握し、現地で職員が危険度を確認し記録している。



町道に張り出した樹木処理は「参事」補助を出すのは困難

参事(建設・産業担当) 補助金を出して伐採を行うのは難しい。森林法に定められる森林であれば、森林環境譲与税の活用も考えられるので今後検討したい。

かつらぎ西部公園の将来像は

【町長】 活用しながら賑わいをつくる

問 パークゴルフ場がオープンしてから年間利用者数、年代別の利用割合、利用が少ない時間帯、曜日把握し、満足度調査など実態を把握する取り組みを行っているか。生涯学習課長 令和6年度では、1万4476名、年代別では65歳以上の高齢者が約80%と最も多く、中学生以下は、約3%と最も少ない状況である。火曜日と金曜日の利用者が少なく、午前中の利用者が多い。利用者アンケートで意見をもらい、内容を精査した上で対応している。



山下 慎二 議員



問 施設の魅力を効果的に伝えていく広報戦略は欠かさない。魅力発信とイベント周知の強化策、利用者の

健康保険課長 健康課題は、転倒骨折予防、糖尿病予防、高血圧予防などが挙げられる。町民の健康意識を高め、運動習慣をつけたいと考えている。現在、公民館やいきいきサロン、各種イベントにて健康づくりに関する教室などを実施しているが、歩き方教室や他課との連携、またマルチタスクなどを活用しながら、西部公園を活用したい。

問 2025年度の推奨では、本町の老年人口が、40%を超える状態になっており、健康寿命延伸、フレイル予防が大きな課題となる。日常的に運動できる、公園型スポーツ施設を有効活用するのは。町長 健康増進の機会を増やすことや、生活習慣病予防、フレイル予防、地域コミュニティの活性化など、家族世代間交流、地域イベントのきっかけ作りのために、パークゴルフ場の無料開放日を制定してはどうか。教育課長 無料開放日の制定は、利用の増加につながるかと考えられる。普及活動を継続して進めながら、実施していく上での課題もあるが、検討していきたい。

問 住民の健康増進の機会を増やすことや、生活習慣病予防、フレイル予防、地域コミュニティの活性化など、家族世代間交流、地域イベントのきっかけ作りのために、パークゴルフ場の無料開放日を制定してはどうか。教育課長 無料開放日の制定は、利用の増加につながるかと考えられる。普及活動を継続して進めながら、実施していく上での課題もあるが、検討していきたい。

問 2025年度の推奨では、本町の老年人口が、40%を超える状態になっており、健康寿命延伸、フレイル予防が大きな課題となる。日常的に運動できる、公園型スポーツ施設を有効活用するのは。町長 健康増進の機会を増やすことや、生活習慣病予防、フレイル予防、地域コミュニティの活性化など、家族世代間交流、地域イベントのきっかけ作りのために、パークゴルフ場の無料開放日を制定してはどうか。教育課長 無料開放日の制定は、利用の増加につながるかと考えられる。普及活動を継続して進めながら、実施していく上での課題もあるが、検討していきたい。

問 2025年度の推奨では、本町の老年人口が、40%を超える状態になっており、健康寿命延伸、フレイル予防が大きな課題となる。日常的に運動できる、公園型スポーツ施設を有効活用するのは。町長 健康増進の機会を増やすことや、生活習慣病予防、フレイル予防、地域コミュニティの活性化など、家族世代間交流、地域イベントのきっかけ作りのために、パークゴルフ場の無料開放日を制定してはどうか。教育課長 無料開放日の制定は、利用の増加につながるかと考えられる。普及活動を継続して進めながら、実施していく上での課題もあるが、検討していきたい。



西部公園も地域活性化の拠点になってほしい

問 かつらぎ西部公園は、地域活性化の拠点になると思う。健康、スポーツ交流、防災の拠点、地域団体、学校、企業などと連携した活用には、どのような将来像を描いているのか。町長 子どもから高齢者までの全ての世代に合った健康づくりを進めていく必要がある。少子高齢化が進む中で、高齢者と若い人たちが一緒になって、魅力あるものをつくり上げていく取り組みが必要である。西部公園をしっかりと活用しながら、多くの人たちに来てもらい、賑わいをつくることを考えたい。

行政情報を動画配信しては

[町長] ケースバイケースで考える



藤本 憲一 議員



問 町の情報発信の一ツにホームページがあり、補完策としてLINE公式アカウントがある。動画配信は町外向けが多く、町の紹介動画が主であり、町民向けの情報は従来の文章表記のものが多く、どこまで理解されているのか分からない。「伝える」のではなく「伝える」が本場の広報だと思つ。決して紙の広報紙や文章表記情報を否定するつもりはない。町民に伝わる一つの手段として、動画を利用することが今後の広報活動だと思つ。ホームページに、デマンド乗合交通実証実験

問 「かつらいど」という名前で紹介動画を配信しているのを見て、やっと始めたなと思つた。紹介動画を始めた背景経緯は。
企画公室長 8月から各種団体への説明会を実施した。内容が複雑なため、言葉と資料だけでは理解しにくい。動画などがあればわかりやすいとの意見があり、10分程度のアニメーション動画を作成し、動画を使つての説明を実施したところ、理解しやすいという声をもらった。
問 今後も動画配信する考えは。
企画公室長 すべてが動画に適しているものではない。情報を受け取る側に立つての効果を十分に考慮し、ケースバイケースでの対応が必要。

問 町民の関心が高い分野の情報を、町
問 今回の提案は、高齢者などインターネット弱者向けの簡単な動画で、住民にイメージできればとの考えである。理解度向上を図る手段としての動画利用はどうか。
町長 動画を使つた方が理解しやすい場合もあるが、パンフレットや口頭説明でも効果がある場合もある。ケースバイケースで検討する必要がある。また、動画を修正する場合には、相当な時間が必要である。今も職員はAIを利用してはいるが、まだまだ問題が多い。今後AIの発展に

デマンド乗合交通とは



デマンド乗合交通実証実験動画「かつらいど」は分かりやすい

より、職員の動画製作負担軽減になれば動画配信も考えられる。AIの動向を見守りたい。
まとめ 若い世代や高齢者が、動画配信により町政に興味を持ち、町に関わるきっかけにもなり得る。町民に情報

報が伝わりやすい町。誰もが行政情報を受け取れる町。そうしたまちづくりを進めていく手段に動画がある。

避難所の用語統一を

[町長] 住民と共有できるようにしたい



東芝 弘明 議員



問 災害対策基本法の改正に伴い、「指定緊急避難場所（命を守るための緊急に避難する場所）」と「指定避難所（一定期間滞在する施設）」に用語が統一された。しかし、本町の地域防災計画資料編では、すべて「避難所」となっており、判別しにくい。また、計画には「避難経路を災害ごとにあらかじめ指定する」とあるが、具体化や住民への周知がなされていない。
危機管理課長 町内66カ所の避難施設のうち62カ所を指定緊急避難場所に設定しているが、表記が不十分。避難経



防災計画とその概要版で用語が違っている

路は、津波浸水想定区域がないので、優先度が低いと考えてきたが、重大な課題だと認識する。本年度の防災計画改訂において、法を遵守した経路の策定、周知を検討する。
問 町が作成した「防災計画概要版」では、法にない「一時避難所」「緊急指定避難所」という独自の用語

が使われており、法的な「指定緊急避難場所」と混同しやすく、分かりにくい。これらのネーミングを廃止し、法律用語に統一して、概要版を作り直すべきではないか。
町長 用語が酷似している。法律用語を踏襲すべきなので、住民と用語の意味を正しく共有できるように修正を図る。

カード型の地域通貨導入を

[町長] 慎重に議論したい

問 鳥取県日南町の「たったもカード」を例に、全住民に配布するプラスチックカード型の地域通貨導入を提案する。これは、町内での経済循環、行政ポイントによる町民の事業への参加、物価高対策など給付の迅速化（事務費の削減）という三つの意義がある。本町でも、紙のクーポン券に多額の郵送・事務費がかかっているが、カード化によって効率化すべきではないか。
まちづくり推進課長 システムが導入されれば、給付時の職員負担や事務費は軽減される。しかし、人口規模が日南町の約4倍である本町では、維持管理費が高額になる。

問 店側のポイント負担（1〜3%程度）や、維持経費など課題はあるが、先行事例を研究すれば経費削減の道も探れる。調査研究する価値があるのでは。
町長 導入を前提とした検討は難しい。日南町のように、個人商店主体の地域と本町では状況が異なる。手数料負担により協力店が脱退する懸念もある。まずは商工会と意見交換をすべき。キャッシュレスに慣れた町民の理解にも時間がかかる。慎重に議論を進めたい。



広域農道で路面修繕状況の現地調査(広浦)



ひとつでも多くの問題を改善すべく、全委員で取り組んでいます。

委員長 表具 弘

住民に寄り添う委員会

総務産業常任委員会

委員会では「道路維持管理」に関し委員間協議を重ね、11月所管である建設課と今年度4回目となる所管事務調査を実施。協議では現在の課題整理、また今年度より実施を始めた「3箇年計画」についても説明があった。住民の生活に直結する道路維持問題に対して、委員会とし

て今後も引き続き取り組む。今年度の視察研修先を2月兵庫県新温泉町に決定。「地域おこし協力隊」について意義ある研修にしたい。

道路要望をリスト化し 公表すべき

【参事】見える化に努めたい



表具 弘 議員



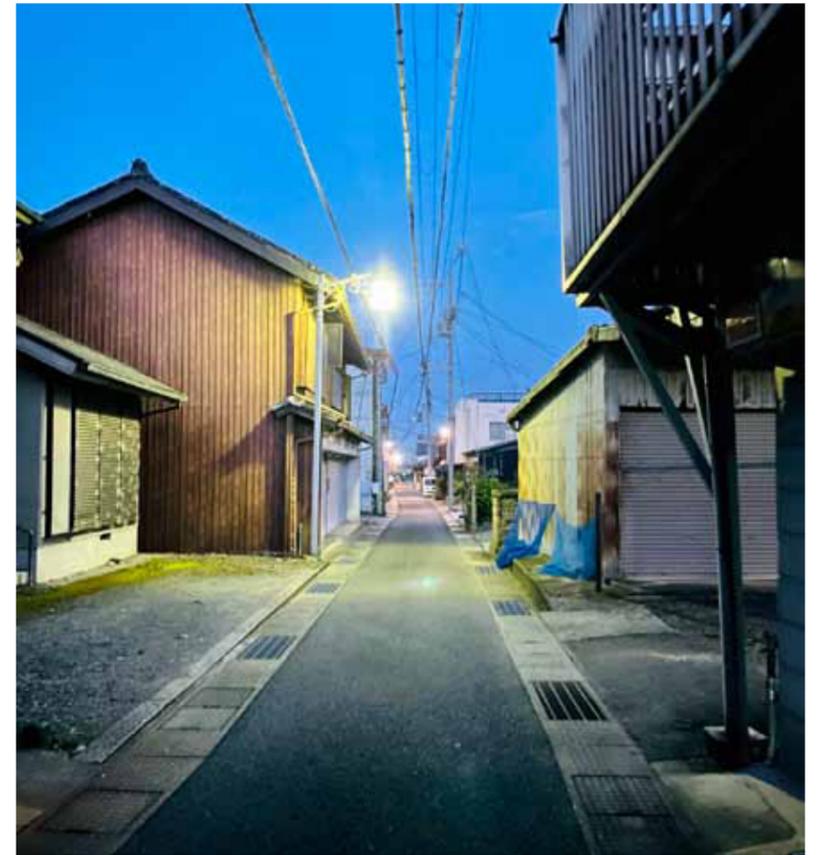
問 道路維持管理費は、毎年どの程度予算を確保しているのか。
建設課長 令和7年度は、委託費用として約2800万円、道路維持修繕工事費として約2200万円を計上している。道路の拡幅や改良などを行う道路新設改良費については、約4000万円を計上している。

問 令和5・6年度に倒しして対応していきたいと考えている。
問 おいて、道路維持管理で担当課が直接補修を行った件数は。
建設課長 令和5・6年度では、各年度約40件の実績。令和7年度については、維持修繕作業を専属で行う会計年度任用職員1名を新規雇用。その結果として大幅に補修の実施件数が増え、11月末時点で224件となっている。
問 維持管理の一部を自治区・町内会へ委託することはできるのか。
建設課長 自治区・町内会には可能な範囲で、道路の草刈りや清掃作業を委託している。新たに町道の草刈りなどを実施してくれる町内会などがあれば、委託は可能である。

問 令和5・6年度に新たに発生した道路維持管理の要望数は。
建設課長 令和5年度は22件、令和6年度は8件。このうち緊急度の高い5件は、既に実施済となっている。
問 住民からの要望に関して、優先順位

のリストを見ることは可能か。
建設課長 3箇年計画について、年度ごとに各要望の緊急性を再確認、再検討している。この見直し後に優先順位の見える化について検討したいと考えている。

問 リストに基づき計画的に実施していく姿勢を見せるべき、リストを一部公開することは可能か。
参事(建設・産業担当) 対応順位については、できるだけ早期に見える化に努めたい。



歴史的価値の高い大和街道(妙寺)

政策提言まで しなげていきたい

厚生文教常任委員会

委員会では1月に2つの自治体へ視察を行う予定である。視察先の静岡県掛川市は、ごみが少ない自治体とされている。奈良県斑鳩町は、ごみを燃やさない埋め立てない「ゼロ・ウェイスト」の町を目指している。両自治体とも、さまざまな取り組み

みを行っており、今後の本町におけるごみの排出に対しての取り組みに生かすことができるか、しっかり学んだうえで、政策提言までつなげていきたい。



しっかり分別が行われている(佐野)



ゴミに関する問題は、町づくりに対して必要なことである。

委員長 山下 慎二

令和7年度

議会モニターの声

monitor's voice

町民の声を議会運営に反映するため、議会モニター制度を実施している。提出された感想などレポートの一部を原文のまま抜粋し掲載する。

本会議



自治会未加入問題ですが、私自身直面する問題でもあり考えることがあります。時代の変化とともに自治会は必ず減っていくでしょう。

(茶原 豊亮さん)



道路や上下水管のようなインフラの維持管理に関しては、人口減少による収入源を補うための財源が必要である。

(田村 哲男さん)

映像配信を見て



質疑応答の際に発言者が頻繁に入れ替わるため、議論の流れが追いにくく、どの議案について話しているのか判断しにくい場面もありました。

議案や予算の内容を広報誌やHPで簡潔に示していただくと、町民の理解が深まる。

SNSやデジタル媒体を活用して若い世代にも情報が届く工夫をしていただくと、町全体の関心が高まると感じます。

(門 大貴さん)

庁舎建設調査検討特別委員会

庁舎建設に関するコンサルタントの役割、工程変更の詳細など、議会によるチェック機能を発揮するための情報開示要求は必要です。

(田村 哲男さん)



東芝弘明議員が35年以上の議員歴となり、総務大臣から感謝状を贈呈されました。

表彰 議員35年感謝状、贈呈

令和8年度議会モニターを募集

あなたの声を議会に!

- 募集人数 | 15人程度
- 任期 | 1年間(4月~3月)
- 主な職務 |
 - ①本会議や委員会を傍聴し意見を提出
 - ②議会だよりやホームページに関する意見を提出
 - ③議員との懇談会
- 謝礼 | あり
- 応募資格 |
 - ①満18歳以上
 - ②町議会に関心があること
 - ③町政および地域社会の発展に関心があること
 - ④議会広報やHP・SNSなどへ氏名・顔写真などの掲載を了承いただける人
 くわしくは、町ホームページをご覧ください。

107号7ページ(写真のキャプション)に誤りがありましたので、お詫びし訂正します。

誤 消防納戸 正 消防納庫



現議場の傍聴席。新庁舎議場では横側配置になる可能性



要望がどう実現するか、期待しながら事業者の提案を待ちたい。

委員長 浦中 隆男

議会で必要な 建築と設備を決定

検討を重ねてきた、新庁舎における議会部門の建築と設備について、要求水準書の内容を協議した。本会議場は傍聴席を議場の横側に配置することで、執行部と議員の様子が見える位置に決定した。資料などを映す大型モニターや、文字起こしモニター設置位置は、傍聴者の見やすい位置に設置することとした。また、委員会室は大小2室を要求しているが、床面積が限られているため、議員控室の面積などと調整し要求することとした。

庁舎建設調査検討特別委員会



1月に予定している中学生への主権者教育が楽しみ

1月27日に開催予定の、町内の中学生に向けた、主権者教育の具体的な内容について検討を行った。その結果、委員2人が1チームとなり、それぞれのクラス生徒たちに「地方議会の取り組み」について説明することとした。この他、視察研修先への質問内容について意見集約を行った。



町内の中学3年生に向けた主権者教育の実現に向けて取り組んでいます。

委員長 滝ノ上 万記

本町議会初！中学生への主権者教育

広報広聴特別委員会



議員自ら襟を正すためのルールづくり

議会政治倫理条例などについて、本格的な審議に入っている。同条例は、議員の政治倫理に関する諸問題を規定し、議員の活動姿勢を律するとともに、事件が発生したときは、重要な基準として生かすことが期待される。



この審査が終了したら、議会ハラスメント条例を作ります。

委員長 東芝 弘明

議会運営委員会

政治倫理条例の協議本格化



がんばる人紹介

NEXT GENERATION



これからの「かつらぎ町」を担うのは君だ！

次世代シリーズ「がんばる人」は、スポーツや文化活動などで頑張っている子どもたちを紹介します。学校の中だけでなく、さまざまな分野で一生懸命に取り組む姿を応援します。

質問事項

- 1 頑張っていること
- 2 始めたきっかけ
- 3 将来の夢
- 4 かつらぎ町の好きなところ



OBANA RINO



【笠田小学校5年生】
おばなりの
尾鼻 理乃さん

- 1 テニスクラブに入ってがんばっています。
- 2 兄がしていておもしろそうだったからです。
- 3 カフェで働くことです。
- 4 自然が豊かなところです。



【笠田小学校6年生】
くろぬま しい
黒沼 紫葦さん

- 1 バレーボールでサーブをがんばっています。
- 2 アニメ「ハイキュー」を見たからです。
- 3 保健の先生になることです。
- 4 おいしい果物がたくさんあるところです。

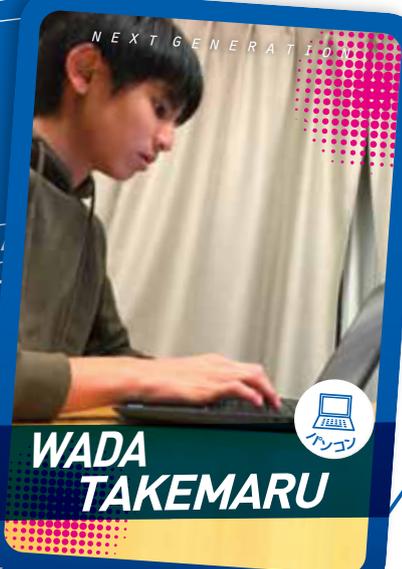


KURONUMA SHII



【妙寺中学校2年生】
わだ たけまる
和田 武丸さん

- 1 プログラミングを頑張っています。
- 2 小学校の時にパソコンの授業で習ったからです。
- 3 ロボット開発エンジニアになりたいです。
- 4 自然が豊かでリラックスできるところです。



WADA TAKEMARU

